



ハッピーこまちゃんと

やさしの公共施設についてみんなで考えてみよう!!

3分で読める!! アセット通信

アセット通信

2017年12月

第5号

どんなことにお金が使われているんだろう?



アセット通信第4号では、八潮市の人口がどのように変わっていくかを示し、将来にわたって高齢化が進み、働く担い手が減っていくことをお伝えしました。

5号では、市のお金の使いみちがどのように変化しているのかお話しします。



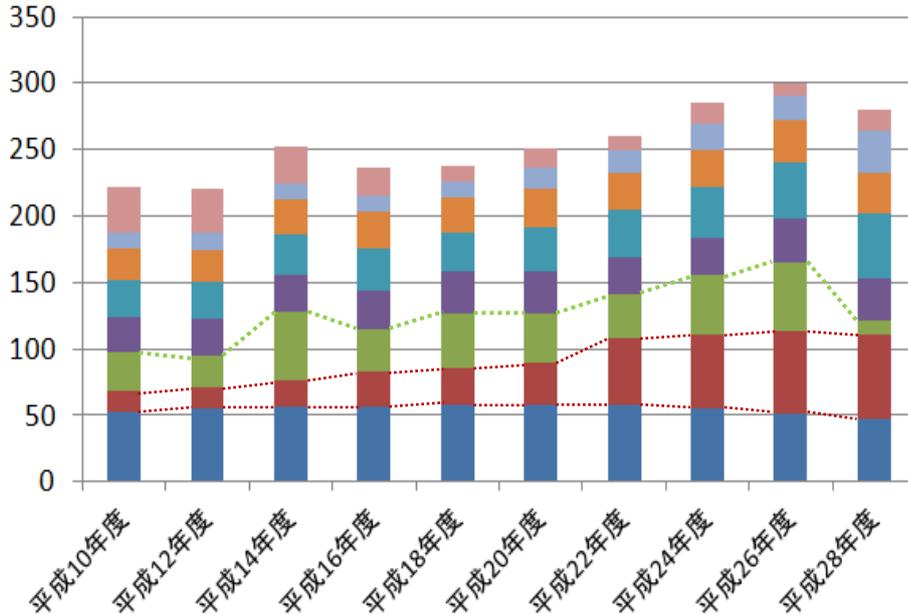
八幡図書館・公民館（築34年）

市のお金の使いみちの変化

グラフは、約20年間の市の予算の使いみちの変化を示しています。右側には参考として、市のお金の使われ方を家庭の家計簿の項目に置き換えています。

家庭の家計簿に例えると...

(億円)



- その他 諸費用
- 補助費等 自治会等の会費
- 繰出金 子どもへの仕送り
- 物件費 衣料代・光熱水費
- 公債費 借金の返済
- 普通建設事業費 家の増改築費
- 扶助費 医療費
- 人件費 食費

20年前と比べると、お年寄りが増えているから、医療費にあたる扶助費が増えているね。これからも少子高齢化は進んでいくし、扶助費はみなさんの健康を支えるために大切なお金だね。同じように高齢化(老朽化)が進んでいる公共施設にもこれから多くのお金が必要になるよね。どちらもできるのかなあ。上手にやりにくくないといけなね。



お金の使いみちも20年前と比べて変わっているね。第6号では、将来、公共施設をどのように維持したら良いか皆さんと考えてみたいと思います。

発行 八潮市役所
アセットマネジメント推進課
TEL:996-2111(内:470)